

# 病害虫防除対策

## ■ラジコンヘリ防除

・7月17日より各地区にて、ラジコンヘリによるカメムシの一斉防除を実施中です。

今後は下記の散布日程にて防除予定ですので、皆様のご協力をお願いします。

散布地域	散布予定日 (1回目)	散布予定日 (2回目)
吉野全域(芝原除く)	7/19(月)実施済	7/31(土)
	7/20(火)実施済	8/11(水)
大虫全域	7/21(水)実施済	8/1(日)
国高 (横市・塚・庄)	7/22(木)実施済	8/2(月)
神山 (池ノ上・広瀬(一部)・岡本)	7/22(木)実施済	8/2(月)
北日野(東)	7/23(金)実施済	8/3(火)
北日野(西)	7/24(土)実施済	8/4(水)
味真野全域	7/25(日)実施済	8/5(木)
坂口全域	7/26(月)	8/7(土)
白山全域(安養寺除く)	7/26(月)	8/7(土)
王子保 (大塩・上小松・森久・瓜生野・中平吹・国兼・白崎)	7/28(水)	8/6(金)
北新庄全域	7/29(木)	8/8(日)
北新庄全域	7/30(金)	8/9(月)
南条 (牧谷・関ヶ鼻・上別所)	7/17(土)実施済	7/26(月) 8/5(木)
今庄全域	7/22(木)~ 24(土)	8/1(日) 8/11(水)・12(木)



ラジヘリ防除作業

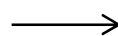
### ★散布時間

午前 5:00(坂口地区は白山地区終了後)~  
散布終了まで  
通勤通学時間帯を考慮し、  
午前 7:30~8:30 の間は一時休止します。

### 【散布にあたってのお願い】

1. 散布中及び散布直後は、散布区域に立ち入らないで下さい。また、危険ですので興味本位で近づかないようにして下さい。
2. 散布中は洗濯物を屋内に入れ窓を閉めて下さい。
3. 万が一、身体等に薬剤がかかったら、すみやかにうがいをし、石鹸で洗い流して下さい。

※地区ごとの詳しい散布区域に関しては、JA 越前たけふのホームページよりご確認できます。



こちらから

### 【雨天延期時の日程と注意事項】

- ・当日の天候回復が見込める場合 散布時間を遅らせて散布します。
- ・天候回復が見込めない場合 予備日や他地区の終了後に散布します。  
※順延ではありませんのでご注意ください。



## ■仕上げ防除を実施しましょう

・近年の温暖化による積雪量や積雪日数の減少により、大型で生息期間の長いクモヘリカメムシなどが多発傾向にあります。本年も、草刈りをしていない水田周辺雑草地では特にカスミカメムシ類の発生が多く、すでに水田内への侵入もみられています。積雪があったからといって油断せず、特に日本晴で出穂後に仕上げ防除を実施しましょう。

### 【注意点】

- ・本田防除の際は畦畔も含めて防除し、雑草の多い圃場や休耕田の周りは徹底して防除する。
- ・出穂7日前以降の草刈りは本田への侵入を助長するため行わない。

※特別栽培米の場合はラジコンヘリ防除を含めて2回(所定の剤)しか防除できませんので注意しましょう。

アカスジカスミカメ



### 【防除薬剤】

エクシード粉剤 DL 3kg/10a 収穫 7 日前まで  
アルバリン粉剤 DL 3kg/10a 収穫 7 日前まで

## ■いもち病対策 ～葉色が濃い圃場で要注意・病斑を見たら直ちに防除～

・移植栽培で播種時にルーチンエキスパート箱粒剤を施用していたり、直播栽培で種子にルーチンシード FS 剤をコーティングしてあれば、予防効果が期待できますが、予防剤を散布していない常発地や生育旺盛で稲体が軟弱な場合は発病に注意しましょう。特に出穂後の穂首いもちは多発すると大減収となりますので、万が一発病したら、治療・予防効果がある薬剤で早急に防除しましょう。



いもちの病斑



### 治療効果のある薬剤

ブラシン粉剤DL 3～4 kg/10a

収穫 7 日前まで ※4～5 時間程度降雨がなければ○

オリブライト粒剤 1 kg/10a

出穂 10 日前まで ※但し、収穫 45 日前まで



※発生を確認したら雨の止み間をみてブラシンを散布し、いもち病を止めることが基本となりますが、降雨が続いてブラシンの散布が困難な場合には、オリブライトの散布をお願いします。

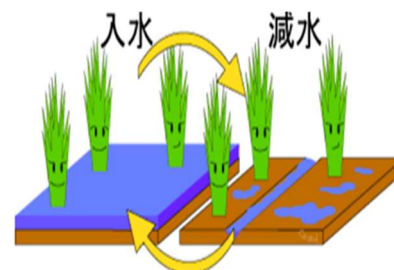
注意: 特別栽培米場合は移植・直播ともに散布できません。

## 収穫までの水管理

### ■乳白・白未熟粒対策 ～収穫直前までの間断通水を！～

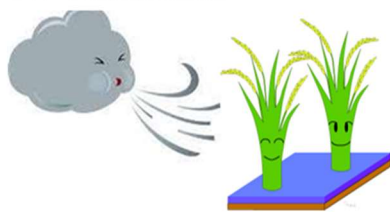
・出穂時期はイネが最も水分を必要とする時期で、幼穂形成期～収穫直前まで水分がある状態を保つことが大切です。特にコシヒカリにおいては、2 等以下の格落ち理由で一番多いのは乳白、白未熟粒被害です。その要因として登熟期間中の水不足による稔実不良が主な原因と考えられ、併せて胴割れ米の発生にもつながりますので収穫直前までの間断通水を徹底しましょう。

#### 間断通水のイメージ

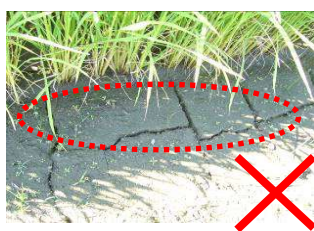


高温時の湛水は根腐れしやすいので、3 日以上は行わない。

フェーン現象などの強風



湛水管理



・フェーン現象などの強風が予想される場合は、茎葉からの水分蒸散を防ぐため、湛水管理を実施しましょう。

品種	月 旬	7月			8月			9月			
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
コシヒカリ	時 期		幼穂形成期		出穂期	登熟期			収穫期		
	水 位	10cm	間断通水(田んぼに水を)								
	5cm										
0cm											
日本晴	時 期			幼穂形成期	出穂期	登熟期			収穫期		
	水 位	10cm	間断通水(田んぼに水を)								
	5cm										
0cm											